



自分を見直したり、いろいろな人の話を聞くことによって、自分の人生をよりよく充実したものにすることがつくと思う。

仕事って面倒だと思っていたけれど、楽しそうだと思えた。



みんなで考えたら、すごいアイデアがでてきた。それぞれに得意なことがあるとわかった。



やる気のある、カッコイイ大人と出会う。

作業は大変だったけれど、やりがいも感じたし、終わった時には達成感すら感じた。それは、多分自分のやっている事が人の役に立つことだったからだと思う。

大学生から、将来の夢と今の学びを詳しく聞く。



チームで協力してやりとげる、達成感を味わう。

チームワークの大切さがわかった。人に伝える力を身につけよう、と思った。

興味のあることが、また一つ増える。



自分が企画という裏方にまわってみることで、楽しいことの裏では大変なこともあるとわかった。大変だけど、やりとげなきゃいけない。参加した人の笑顔を見てうれしかったのが発見だった。



学んでいる事が、社会の中でどのように役立つのかに気づく。



いろいろな職業の人を知ることは、いろいろな自分を知ることになると思う。

間違っても良い。自分がどう思ったかを言葉にする。



働くのはお金のためではなく、人のためだと気づいた。

まだ、何を学びたいかわからないけれど、自分で考えようと思うようになった。



基礎が大事。やっぱり勉強って、大切なんだ。



外部の方々と連携して一番大きく変わったことは、生徒達が楽しくグループワークをしたり、意見交換、考えの共有、企画立案、プレゼン等、様々な社会へ出たときに必要な技術が身についてきたことだ。抵抗感のあった教員側も生徒の素直な変化を見て、外部と連携した授業の意義をはっきりと認識できたのではないだろうか。運営面では誰かが苦勞するかもしれない。しかし、それ以上に成果は大きく、生徒のために頑張る価値のある取組だと思っている。

都立芦花高校 主幹教諭 秋本嘉一

都立武蔵高校 主幹教諭 塩澤今日子